

アイ・シーたんなんだより 公立丹南病院



放射線科について

公立丹南病院 放射線科 清水幸生



公立丹南病院放射線科の清水幸生です。平成24年4月に常勤医として赴任し、非常勤医師2名とともに日々の放射線科診療を行っております。

病院にはたくさんの方が存在して

います。ただ放射線科は多くの方々にとってはまだまだ馴染みが少ない科の1つだと思います。放射線科医を題材としたドラマや映画があると放射線科の仕事を知ってもらえると思うのですが（テレビ朝日さん、ドクターX（外科医・大門未知子）の続編は放射線科医が主人公でどうですか？）、残念ながら今のところはあります。

一般の方に放射線科医と自己紹介しますと、「病院で写真を撮ってくれる人ですよ」と言われることが多いです。ちょっと誤解がありまして、放射線科医の仕事は画像診断であり、撮影された写真（放射線技師さんが撮ってくれます）を見て、病気の診断をつける（これを「読影する」といいます）こととなります。また病気の診断をするのには診断に適した写真が必要にな

りますが、それは機械任せではうまくいかず、それぞれの検査の目的に応じた適切な撮影方法を選択する必要があります。これも放射線科医の重要な仕事の1つです。

放射線科医は毎日病院で撮影されるCT、MRIの画像をモニターで読影し、診断報告書（レポート）のかたちで主治医に報告しています。外来や病棟に出ることはありませんので、皆さまと直接お会いすることは少ないですが、レポートを通して間接的に診療に関与させていただいています。主治医

の先生から画像検査の結果の説明を受けている時には、放射線科医のことも少し思い出していただけ

ますと、これ以上の喜びはありません。ちなみに日本医学放射線学会のホームページでは、「放射線科は単純X線写真



から最先端画像までの画像診断と画像誘導下で行う局所治療（インターベンショナルラジオロジー・IVR）を行う診療科です」と説明されています。今回は画像診断医としての仕事を紹介

しましたが、IVRも放射線科医としての大事な仕事になります。IVRに関してはまだ機会がありましたら、改めて紹介させていただければと思います。

最後に、日本での放射線科医の現状についてお話しします。厚生労働省がホームページに公開している資料に「日米の診療科別の医師数の比較」があります。日本と米国の人口比が概ね1対2.3、医師総数の比が1対2.5であるのに対し、放射線科医師数の比は1対8.1となっています。残念ながら日本ではまだまだ放射線科医は足りないのです。



病歴管理室 の ご紹介

病歴管理室
清水 文博

病院で働いている人といえば医師、看護師、技師さんといった白衣を着た人や、窓口や電話対応の事務員さんなどを思い浮かべるかと思いますが、他にもいろいろな職種の人たちがいます。今回は、普段はあまり患者さんの目にはふれない「病歴管理室」を紹介いたします。

病歴管理室は、病院長を部門長とした事務職4名の小さな部署で、1階正面受付にある医事課の奥で働いております。私たちの主な仕事は「カルテ」に関するものです。

病院を受診すると、問診や診察、検査、処方などの内容はすべてカルテに記録され、これらは5年間の保管年限が法律で定められています。カルテというのは医師が書く「診療録」といわれる記録だけではなく、看護記録、検査記録、手術記録、同意書など診療の過程で記録された、すべての情報がカルテとして取り扱われます。初診の時などに書いていただく問診票もカルテの一部になります。

このようにカルテはいろんな種類の記録が集約しているため、構造が複雑で、円滑に診療を行うためには、書き方や保存場所に一定の決ま



りを作って記載する必要があります。

病歴管理室では「診療情報管理士」という資格を持った職員が、「カルテが規則正しく記載されているか」や「必要な書類がすべて揃っているか」などを点検することや、紙の書類をスキャンして電子カルテに割り付けることなど、カルテ管理・保管に関する仕事をしています。

また、カルテの情報は、個人情報保護法などに基づいたデータ収集や学会の研究目的など、二次的な情報として活用することもあり、その際のデータ作成に関わる仕事もしています。最近ではカルテ開示も一般的になっており、患者さんにもわかりやすいよう書き方や内容を検討することも、大事な仕事です。

このようにカルテは患者さんに関する病院で起こった出来事全てが記録されたもので、大切な人生の記録でもあります。正確な記録を残すことが、皆様の健康づくりに役立つものと考えて日々仕事に当たっています。

以上、病歴管理室と仕事についてご紹介させていただきました。よろしくお願いいたします。

たんなん文化祭



昨年9月30日(土)に院内において、「たんなん文化祭」が開催されました。当日は職員によるハンドベル演奏やオカリナ演奏、吟詠剣詩舞などが披露されました。

展示コーナーでは手芸、絵画、写真、生け花などの文芸作品、院内のサークル活動紹介など、当院職員の作品を外来ホールに展示し、来院された方々の目を引いていました。



公立丹南病院

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31

公立丹南病院

TEL:0778-51-2260 FAX:0778-52-8620
 ホームページ:<http://www.jadecom.or.jp/jadecomhp/tannan/html/>
 メールアドレス:tannan-info@jadecom.or.jp

公立丹南病院 在宅事業部

居宅介護支援事業所

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31
 TEL:0778-52-2050 FAX:0778-52-2151

訪問看護ステーション

メールアドレス:tannan-zaitaku@jadecom.or.jp

通所リハビリテーションセンター なごみの里

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31
 TEL:0778-51-5234 FAX:0778-51-8242
 メールアドレス:tannan-nagomi@jadecom.or.jp

通所介護 よつばの里

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31
 TEL:0778-51-5411 FAX:0778-51-8242
 メールアドレス:tannan-yotuba@jadecom.or.jp

